

議員提出議案第9号

台湾のWHO年次総会オブザーバー参加を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり芦屋市議会会議規則第13条第2項の規定により提出します。

令和2年6月8日

芦屋市議会議長 中島健一様

提出者	自由民主党 芦屋市議会議員団	松木義昭
	日本共産党 芦屋市議会議員団	ひろせ久美子
	BEASHIYA	青山暁
	公明党	帰山和也
	あしやしみんのこえ	長谷基弘
	日本維新の会	大原裕貴
	会派に属さない議員	寺前尊文

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣
及び厚生労働大臣

台湾のWHO年次総会オブザーバー参加を求める意見書

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、世界保健機関(WHO)はパンデミックに当たると表明し、全ての国が積極的な対策を講じなければ、死者数が数百万人に上る可能性があるとして警告している。さらなる感染拡大を防止し世界の人命・健康を守るためには、国際的な連携及び情報共有が必須であり、決して地理的空白を発生させてはならない。

WHOへの正式な参加が認められていない台湾は2009年以後8年連続でWHO年次総会にオブザーバー参加し、保健衛生分野において国際貢献してきたが、2017年からはオブザーバー参加もできていない。

この度の新型コロナウイルスの対応をめぐっても、WHOは、台湾で新型コロナウイルスの感染者が確認されているにも関わらず、台湾の参加を認めていないため、感染例や予防措置の詳細について情報共有がなされていない状況である。

台湾はSARS(重症急性呼吸器症候群)蔓延の経験をもとに、その後優れた防疫システムを構築しており、感染防止に貢献できる医療水準も有することから、WHO年次総会へのオブザーバー参加は、新型コロナウイルスの早期終息の一助になり得ると考える。

上記のことから、国においては、台湾の世界保健機関(WHO)年次総会へのオブザーバー参加を支持するとともに、そのための必要な支援を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

芦屋市議会